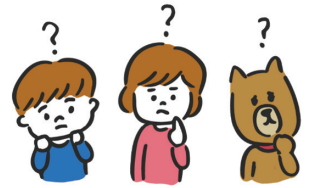


あいにくだより



ヘルパンギーナって なんだろう？



ヘルパンギーナは、6月から初夏にかけて流行し、乳幼児に多くみられる夏風邪の代表的なウイルス性の感染症です。まれに大人が発症することもあります。主に「コクサッキーウイルス」が原因で、ウイルスの型がいくつかあるので、何度もかかってしまうことも珍しくありません。夏に流行するウイルスですが、新型コロナウイルスの流行以降、その他のウイルスの流行時期にも変化がみられているので注意が必要です。



どんな症状？

発熱、のどの痛み、口腔内に
小さな水疱

39℃以上の突然の発熱が1～3日続きます。高熱から、「熱性けいれん」を起こすこともあります。

また、発熱と同時にのどが赤く腫れて小さな水疱がたくさんできます。水疱は2～3日でつぶれて黄色い潰瘍になります。

のどの痛みが強いために、食事や飲みものを受けつけなくなることから、「脱水症状」を起こすこともあります。

症状は約5日程度で治ります。

かかってしまったら？



1. 有効な特效薬はなく対症治療中心
2. 刺激のあるものを避け口通りの良い食物を与えましょう
3. 水分をこまめに摂取しましょう

ヘルパンギーナに対する特效薬はありませんが、口内炎に対して鎮痛解熱薬で痛みを和らげたり、粘膜保護剤の軟膏などが処方されることがあります。

飲食では酸味や塩味などの刺激が強い食品を避け、プリンやゼリーなどを選ぶとよいでしょう。

また、飲食ができなくなって脱水が生じることを防ぐために水分をこまめに摂取することも重要です。

6月のわくわくサークルのお知らせ

「パン作り-フォカッチャと鶏ハムサラダの試食-」

日時：令和7年6月25日（水）10：00～13：00

場所：西庄公民館1階和室

持ち物：コップ、お皿、フォーク、エプロン、三角巾



愛育会の
Instagram